

町内一斉清掃について

9月4日(日)に実施できなかった場合は中止です

8月号広報くまの及び、回覧に町内一斉清掃について「9月4日(日)が雨天等の場合は、翌週の11日(日)に延期します」とお知らせして...

なお、4日が好天の場合には通常どおり午前8時から実施いたします。

町民の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

問合せ先 熊野町公衆衛生推進協議会

(事務局 生活環境課) TEL 820-5606 (生活環境課)

秋の全国交通安全運動実施

9月21日(水)～30日(金)までの10日間、秋の全国交通安全運動が実施されます。

この運動は、交通安全思想を普及・浸透させ、交通安全意識の高揚を図るとともに、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることで、交通事故防止の徹底を図ることを目的として実施されます。

運動の重点目標

- 高齢者の交通事故防止
○夕暮れ時の歩行中と自転車乗車中の交通事故防止
○シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

この頃から、急に日が短くなります。夕方に出かけるときは、なるべく目立つ

服装で反射材などを活用し、交通事故に遭わないように心掛けましょう。(生活環境課)

くまのついでに

缶とビン(茶色・透明・その他)の4種類は資源ごみIIに分類されますが、1袋にまとめて出すことはできません。それぞれ分別して出しましょう。

また、自動車部品、バイク部品、家電4品(テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、エアコン、洗濯機)、パソコンはごみステーションに出すことができません。処分については、販売店や廃棄物処理業者へお問い合わせください。(生活環境課)



くまのついでに

高齢者をねらう訪問販売によるリフォーム工事に用心!

相談内容

雨漏りするので直そうと思っていたところ、1か月前に訪問販売業者が来訪し、約300万円の屋根工事を契約した。知人に相談したら、「金額が高すぎる」と言われたため、契約して5日後業者が解約しようとして電話をしたが、結局断ることができなかった。

(70歳代 男性)

アドバイス

双方から事情を聞いたところ、契約者はクーリング・オフ期間内に業者に電話連絡を入れていますが、結局契約解除の意思はつきり

伝えることができていませんでした。

この相談については、クーリング・オフによる契約の解除は困難と判断されたため、相談者には業者と違約金の減額交渉をするよう助言しました。

訪問販売によるこのような契約は、契約書面を受け取った日を含めて8日以内であれば、クーリング・オフ制度によって、無条件に契約を解除することができます。

クーリング・オフは必ず

書面で行い、証拠が残るよううに、内容証明郵便か配達記録郵便にして郵便局から発送しましょう。

大切なことは契約する前に、工事が必要かどうか内容や金額など、手間と時間をかけて十分検討することです。また、高齢者がトラブルに巻き込まれないよう、周囲の人が注意していくことが必要です。(生活環境課)

献血功労者表彰

7月27日(水)、鯉城会館(県民文化センター)で開催された平成17年度広島県献血推進大会において、継続的に献血の推進に協力されている堀野典子さん(中溝)に感謝状が贈呈されました。



熊野町公衆衛生推進協議会(事務局 生活環境課)

石綿粉じんによる健康障害を防止

石綿(いしわた)は、肺がん、中皮腫等の疾病を発症するおそれがあるため、「石綿障害予防規則」を制定し、関係労働者の健康障害防止対策の充実を図ることとしました。

古い建築物の所有者や管理者の方は、吹きつけ石綿等の飛散防止のための措置を行うとともに、建築物の

解体作業時の飛散防止措置への配慮をお願いします。

なお、この規則の詳細については、広島労働局安全衛生課または広島中央労働基準監督署にお問い合わせください。

問合せ先 広島労働局安全衛生課 TEL 221-9243 広島中央労働基準監督署 TEL 221-2459 (企画課)

くまの俳壇

熊野俳句同好会

【熊野俳句同好会】

水張って影あたらしき青嶺かな 咲き競う南の花や朝の風
ゆらゆらとキャベツに遊ぶ白き蝶 九十の翁が唄ふ夏座敷
草むらに捨てて南京の花結び 夏霧の濃さに浮かべる朝日かな
梅熟れて梅に迫るる日となり 園児等の夢の膨らむ星祭
奥溪のひなびた宿の立葵 屋寝覚しばらく逢わぬひと想ふ
紫蘇漬けて寧き一日の母遠し

【西公民館俳句同好会】

黒竹の色青々と今年竹 電柱の片陰に入る警備員
家壊す音に子燕顔出せる 薫風や注連めぐらせる刀鍛冶
尺蠖をつけば尺を取りはじむ 鬼瓦日射の強さ早梅雨
枇杷の雨一日中や七七忌
キャンパスに絵具重ねる夏の雲
青みかん山へリフトの錆びて伸ぶ

先日、中国の敦煌にある莫高窟北窟から古文書が見つかった。農民の書いたものというが当時は西域を守るため農民を兵にするため連行、その時に書き残したとされる。「人生でもっとも不運なことは兵に駆り出されることだ。」随分と昔のことだが、今でも通用することばではなからうか。

江田島の術科学校と呉の大和ミュージアムを見て、つくづく感じたことはの一つである。

木村 里風子

市民球場から広島をもっとゲンキにつ!

～まちづくりの観点から学ぶ～

とき 9月4日(日) 13:30~15:30

ところ 三田屋

受講料 無料(セミナー会員)

年会費1,000円でいつでもご入会いただけます。

講師 「広島市民球場の再生を考える協議会」

建築家 石田平二(広島建築家の会代表幹事、JIAひろしま地域会代表)

問合せ先 伊藤 TEL854-0073 ホームページ http://www.mitaya.com

(生涯学習課)

